

# 令和元年度第2回曾於保健医療圏地域医療構想調整会議 開催結果

日 時：令和元年11月14日（木）18:00～19:36

場 所：曾於医師会立病院 講義室

出席者：曾於保健医療圏地域医療構想調整会議委員14人（うち代理出席3人，欠席1人）

傍聴者：25人（委員随行者・関係者を含む），事務局：7人

## 1 議事内容

### (1) 報告

- ① 定量的基準について
- ② 公立病院・公的医療機関等の具体的対応方針の再検証の要請等について

### (2) 協議

- ① 公立病院・公的医療機関等以外のその他の医療機関の具体的対応方針の協議の進め方について
- ② 外来医療計画について

## 2 協議結果

### (1) 公立病院・公的医療機関等以外のその他の医療機関の具体的対応方針の協議の進め方について

専門部会を活用した協議を進め、病院と有床診療所を分けて協議を進めていくことで了承が得られた。専門部会については新たな部会員の選出も含めて検討することで了承が得られた。また協議に当たっては問題点を抽出してその問題について議論を進めていくこととする。

### (2) 外来医療計画について

外来医療計画検討内容報告書（案）について了承が得られた。

## 3 主な意見等

- ・曾於は西日本の二次医療圏の中で一番医師が少ない圏域である。心臓や脳神経外科を診る施設が少ないことから住民は困っている。急性期が多すぎるから急性期を減らして回復期にするというような、それ以前の問題が曾於圏域にはあるのではないかと。とにかく住民、市町と一生懸命議論して作り上げていくべきものではないか。
- ・以前と比べて手術をするようなケースが少なくなるなど、高齢化により医療の質や患者の質に変化がある。それらを含めて調整会議での取組をしていくということである。
- ・地域の人口減少等を鑑みたとき、2025年に向けて、今の組織がどういう形であり得るべきか、またありたい姿であるか、どういう形で自分の組織を持っていきたいか、みんなで本音で話をしていかないといけない。